



2020年大河ドラマ

麒麟がくる

主人公・明智光秀

ゆかりの地

滋賀をゆく

座談会

明智光秀と滋賀県の魅力を発信

滋賀の文化情報誌
デュエット
Duet

2019 特別号

新撰 淡海木間撰 77

大津市指定文化財 和田家文書

九月二日付明智光秀書状



西教寺の総門前で、左から、高木敏弘さん、金子博美さん、前阪良憲さん



座談会

大河ドラマ「麒麟がくる」主人公

明智光秀と滋賀の魅力を発信

令和2年(2020)のNHK大河ドラマ『麒麟がくる』放送を前に、主人公・明智光秀ゆかりの地の方々に光秀の菩提寺である西教寺(大津市坂本／P.11参照)にお集まりいただき、光秀と滋賀の魅力をどのように発信していくか、お話しいただきました。

取材／編集部 写真／辻村耕司



(左) 西教寺本堂での追善法要
明智光秀の命日である6月14日に
行われる

(右) 明智光秀直筆寄進状
(西教寺蔵)

明智光秀が、討ち死にした部下18
人を弔うために元亀4年(1573)、
西教寺に寄進した供養米の寄進状

西教寺と坂本城、明智光秀と織田信長

——西教寺は明智光秀の菩提寺ですね。

前阪 元龜2年（1571）、比叡山焼き討ちの際、明智光秀は織田信長の命で功績



まえざかりょうけん
前阪良憲 さん
総本山西教寺執事長、
天台真盛宗宗務総長、
明智光秀公顕彰会会長

をあげますが、戦については非常に悩んでいたのではないのでしょうか。光秀は、和歌を愛し、茶湯を愛し、連歌を愛した教養人、文化人でしたから。三浦綾子さんの小説『細川ガラシャ夫人』では、西教寺は光秀や家族にとって憩いの場として描かれ、「不断念仏」の鉦の音に心の安らぎを得ています。

焼き討ちでは、比叡山はもちろん坂本の町や西教寺の本堂なども破壊されましたが、合戦の後、復興にあたっては本堂の再建などに力を尽くしました。討ち死にした家臣18人を弔うための供養米の寄進状も残されています。照子夫人ら光秀一族が西教寺で弔われ、お墓も建てられました。総門は坂本城から移築されたもので、普通のお寺の門と違って馬に乗ったまま通ることができま

す。かつて光秀もこの門を通ったでしょうね。

本というすばらしいところがありますので、このチャンスを生かしてアピールしたいですね。坂本がある大津市として、市全体で盛り上がりという計画を立てています。

西教寺さんはもちろんのこと、坂本城跡（11ページ参照）に公園がありますし、当時、そこから光秀がどういう風景を、どんな琵琶湖、どんな比叡山を見ていたか、そこに行くと感じてもらえると思います。

前阪 坂本城は居城でしたから、光秀は亀山城や福知山城（ともに京都府）に行っても必ず坂本城へ帰ってきた。京都の吉田神社神官の吉田兼見の日記に坂本城の記述があります。文化人として光秀と交流していただんですね。相談しながら坂本城で茶湯や和歌、連歌の会を行っています。大河ドラ



たかぎとしひろ
高本敏弘 さん
安土町商工会会長、大
河ドラマ「麒麟がくる」
近江八幡市推進協議会
会長

——西教寺内に事務局がある明智光秀公顕彰会についてお聞かせください。

前阪 平成元年（1989）に創立し、昨年30周年を迎えました。最初のメンバーは成安造形大学の木村至宏先生（元学長、現名誉教授）や、当時の宗務総長の片岡義道先生。片岡さんは天台声明研究の大家で、京都市立芸術大学の教授でした。もう一人は「湖影 明智光秀とその妻照子」などを書かれた作家の中島道子さん。中島さんが



前阪良憲さんの案内で明智一族のお墓参り

マではそういう光秀の文化的、教養的な面を伝えていただきたいですね。本能寺の変で主君を討った逆臣といわれますが、私は光秀が日本という国の行く末はこうあるべきだというものを持っていたと思います。

高本 私も明智光秀に対して悪い印象はまったく持っていません。信長が一番信頼していたのが光秀ですし、年上でもありま

すし、家柄の面でも一目置いていたでしょうね。

光秀公を顕彰する全国組織をつくったかどうかと提案したのが始まりです。そして今は亡き西教寺職員の手戸利八郎さんの功績も大きかったですね。

ご命日である6月14日に本堂でお弔いをして、その後、講演会や座談会、発表会などを行うなどして、昨年30周年を迎えました。機関紙「桔梗」の発行や、光秀ゆかりの京都府福知山市や亀岡市、岐阜県、福井県などへ毎年1回ずつ研修旅行を行い、



かねこひろみ
金子博美 さん
びわ湖大津観光協会副
会長、大河ドラマ「麒
麟がくる」大津市観光
振興協議会幹事

金子 明智光秀というと、京都の本能寺は有名ですが、大津にも光秀ゆかりの地・坂



明智光秀 妻照子 御木像（富樫実作、西教寺蔵）

西教寺がその支援をしているというかたからです。

光秀と照子夫人の木像をつくられました。

前阪 平成11年（1999）、創立10周年の時でした。私が役員会で「岸和田の本徳寺さんのような光秀の肖像が西教寺にはない。成安造形大学の先生に木像をつくってもらって安置できないか」と話したら、すぐに発起人会ができて、彫刻家の富樫実先生（現名誉教授）にお願いすることになりました。ただ、照子夫人の肖像はどこにも残っていないので、日本画の先生に三浦綾子さんや中島道子さんの小説を読んで想像で夫人像を描いてもらって、それを木像



芭蕉句碑「月さびよ明智が妻の咄せむ」

にしていたきました。

平成6（1994）年には、松尾芭蕉没後300年を記念して芭蕉が詠んだ「月さびよ明智が妻の咄せむ」の句碑を建てました。

大河ドラマ放送で地元を見直す

——高木さんは織田信長のお膝元・安土でさまざまな活動をしてこられました。

高木 私はずっとまちづくりをやってきました。そのスタートは昭和56年（1981）の織田信長400年祭です。20人の若者で現在の「あづち信長まつり」の前身「フェスタ信長」を開催したのが始まりです。イベントは目的ではなく、あくまでも手段で

あって、人がたくさん来ることによって地元の人に「見慣れた風景だけど、人がたくさん来るほどすごいのか」と思ってもらうために始めましたが、いまだ道半ばです。

安土城お堀めぐりも実施されていますね。

高木 安土城焼失後、安土には何も残っていないといわれますが、「安土・八幡の水郷」の一部は安土城のお堀の痕跡で、それらは昭和30年代まで農業の重要な手段として活用されてきました。その後、車社会となり水路が「表」玄関から「裏」になって放置され、次第に荒廃していきました。お堀めぐりは、この「生活遺産としての石垣と水路」を次世代に残していきたいとの思いで清掃活動とあわせて平成17年（2005）から始めたものです。

このように、ふるさと安土の魅力とすばらしさを住民の方々に知っていただく活動を長年行なってきました。

来年1月からNHK大河ドラマ「麒麟がくる」放送されます。

高木 信長や安土城、安土が全国的に注目

されるでしょう。三日月大造知事も安土城再建への道を探る取り組みを始めておられ、安土にはかつてない大きな風が吹きつつあり、今は安土に活気を取り戻す絶好のチャンスだと考えています。

これまで信長が主人公またはそれに準ずる重要な人物として描かれた大河ドラマは数多くありましたが、地元でそれを活用して何らかのアクションを起こしたことは、私が知る限り一度もありませんでした。大河ドラマ放送を機に協議会という組織を作ったのも今回が初めてです。大河ドラマ「麒麟がくる」近江八幡市推進協議会の基本的な考え方は、放送をきっかけにして全国に安土の魅力を発信し、大河ドラマ終了以降も「まちのにぎわい」と観光振興につなげることです。まちなかの魅力を高め、安土城跡だけでなく城下町（まちなか）の魅力を感じていただき、ドラマ終了後も安土へ繰り返し来ていただく企画を積極的に展開し、安土築城開始450年（令和8年（2026））につなげたいと思います。



安土城お堀めぐり。外堀を手漕ぎ和船でめぐる。ゴールデンウィークとあづち信長まつり当日（6月第1日曜日）に就航

——大河ドラマの影響で観光客はかなり増えるでしょうね。

高木 協議会では全国からより多くの観光客に来ていただけるようツアー企画を計画中です。車で安土城跡の見学に来てそのまゝ車で帰るだけでなく、JRで来てまちなかを散策しながら安土城跡へ行くツアーです。来ていただいた方々をがっかりさせたら、今まで以上に安土は活気を失ってしまいますから、まちなかの魅力アップは不可欠です。車ではなく徒歩、自転車、舟などを使い、信長も感じたであろう「風」を感じながら散策するアナログ的なツアーを基本としたいと思います。

大河ドラマが地元の人にとって地元を見直すきっかけになればという思いは変わりません。

——西教寺での受け入れ体制はいかがですか。

前阪 西教寺では駐車場を広げようと計画中です。宿泊ができる研修道場も7月にリニューアルしてバリアフリー化しました。

金子 座禅や写経など、いろいろな体験ができて、お料理もいただいけるんですね。

前阪 料理は坂本ならではの特産物を取り入れて、光秀も味わったであろう「光秀御膳」のようなものを現場スタッフは考えているようです。

金子 坂本城跡の公園の近くにも駐車場が必要ですね。行政と協力しながら応援していきたくと思っています。

前阪 旧国道161号が狭いので不安ですね。公園に石碑や石像は建っていますが、もつとわかりやすくしないと通り過ぎてしまふ。まだまだ坂本は光秀そのものの存在がまだ薄く、大河ドラマ放送が決まっただけで、西教寺にお墓があるとか、照子夫人のことを知った方が多いようです。

高木 それは意外ですね。

金子 観光業に携わっていると当たり前だと思っているのですが、一般の方々から今回なぜ大津ががんばっているのかと言われてびっくりしました。

高木 安土の人が安土のすごさをあまり知らないように、地元の人にはなかなか地元のことを……。

金子 安土は安土桃山時代という名前がある

大津・安土、水のルートを船で結びたい

高木 坂本から安土へと湖上を結ぶ「信長拝調ルート」ができないかなと考えています。三日月知事も琵琶湖の水運に関心を持っておられますし、琵琶湖汽船さんとも話はしています。問題は坂本には港がないことで、大津港（浜大津）からでは今ひとつ……。

金子 おごと温泉には港がありますよ。

高木 そこから長命寺港まで行っていただけ。長命寺港から小型船に乗り換えて西の湖を通り、常楽寺港か豊浦港へ入ってまちなかを散策しながら安土城跡へ行く、すでにそんな実験もしてみました。採算ベースがありませんので、月に1度でもいいからぜひ具体化したい。光秀が400年前の「風」を船上でどういう気持ちで受けていたか追体験できるルートは他にないと思います。

金子 おごと温泉港発着の「びわ湖お散歩クルーズ」は、宿泊のお客様にチェックイン後1時間ほど琵琶湖を体験していただくという試みです。これまでは堅田方面、琵琶湖大橋に向かってクルーズしてもらっていたのですが、今年は坂本城

るぐらいすごい場所なのだと思うのですが、**高木** 昔は小学校に年表があつて安土桃山時代と書いてありましたが、いまは年表を貼っていません。

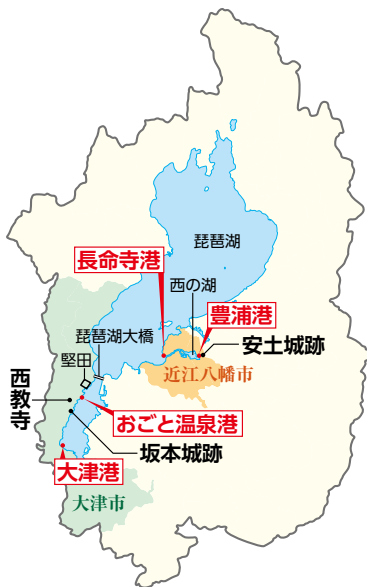
金子 日本の歴史で近江（滋賀県）が出てこない時代はないでしょう。滋賀県だけピックアップした年表をつくったらおもしろいでしょうね。

跡を琵琶湖側から見てもらおうと坂本方面に回っています。おそらく来年もそうなるのではないかと思います。ただ、坂本城はあの辺ですと言っても、知っている人は分かるのですが、県外からのお客様には分かりづらいので、協議会の中で相談して目印になるものを考えたいです。

——光秀の石像も見えないのですね。

金子 ええ。木とヨシがあつて自然な風景でいいのですが、それらを活かした大きな旗を付けるなどして、当時の面影があるような目印ができたかなと思います。

高木 大津からだだと長命寺港まで約1時間、長命寺港から安土城跡まで西の湖経由で約1時間かかります。歴史講演や食事など、どのような企画を取り入れるかが課題です。



西教寺と坂本城跡、安土城跡、港などの位置

金子 ぜひ行ってみたいですね。

高木 パーチャルで400年前の風景を見てもらうとか、満足していただける時間にならないとお客さんは繰り返していただけないだろうなという感じはあります。

まちづくりには店づくり、味づくりが必要

高木 歴史マニアの方は安土城跡に何度でも来られるのですが、マニア以外の人を増やそうと思うと、やっぱり買い物とか食べ物も非常に重要で、まちなかの魅力も必要だろうなと思います。

食べ物重要な要素ですね。

金子 坂本にはずばらしいまちなみが残っているのですが、お店が少ないので来年3月からの博覧会に間に合うよう臨時的に何かつくれたらという話も出ています。

これは来年だけではなく、本当にこの町のよさを知ってもらえれば、もっと多くの人に訪れていただけますし、それが市民の皆さんの自信にもつながって、この町に住み続けたいと思ってもらえるのではないのでしょうか。

高木 坂本はものすごく魅力がありますよ。食べ物もそばがあるし。

前阪 鶴つるそばと日吉そばは人気がありますね。日曜日は行列が道路にあふれています。

高木 新しい食の開発については「ふな焼き」の復活を計画中です。みなさんはご存じですか。千利休の「麩もちの焼き」から来ています。

金子 お麩を焼いたようなものですか。

高木 小麦粉を薄く伸ばして焼くんです。元は千利休が大名茶会に一番好んで出していたもので、その現代版です。

和風クレープという感じでしょか。

高木 そうですね。これは大津や彦根にもないと思います。蒲生・神崎地区など

金子 戦国時代は実際に船で行き来していたわけですよ。

高木 何か体験メニューを設けるという案もありますが、何度も来ていただくには同ジメニユーでは難しいですね。安土城の説

で食べられていたもので、私たちの子ども時代が一番のおやつでした。千利休は信長の茶頭さとうとして仕えていましたから、大名茶会の「麩の焼き」がいつしかこの地域のおやつ「ふな焼き」に転じたのではないかと考えています。そのストーリーはとても興味深いですね。これをB級グルメとして復活させようと、商工会の女性部にも願っています。

また、地元の料理屋さんに提案しているのは、船を店の近くまで呼んで、食事の前には西の湖めぐりをしていただく。信長も感じた空気と景色を体験してもらおう。前菜の代わりに、西の湖や安土山も味わっていただくんです。

まちなかの魅力アップに必要なのは食と買い物、つまり、魅力ある食の開発とお店の出店です。

もっとまちなかを魅力的にするために、歴史と自然に恵まれた安土の魅力を知り尽

非日常な空間で食事ができるといふ演出が必要

食事をする空間も大事ですね。

前阪 観光協会の仕事をしていてわかったのですが、里坊さとほう※を常時開けていただくとかかなり違ってきます。

高木 そこで食べられると全然違いますよ。
前阪 しかし通常は非公開ですから。

高木 どこで食べるかというのは大事で、せめてお茶をいただくだけでも全然違う。京都の二条城でこれまで非公開だった庭

明もあるといいですが、水郷めぐりだと30分か40分、普通に鳥が鳴いているだけでも喜ばれる。お客様のの中には、ギーギーいう鵜うの音と鳥の声だけがいいという方もおられます。

こうした地元の方はもちろん全国各地の方々の安土への新規出店を期待しています。7月28日、JR安土駅前の楽市楽座館にチャレンジショップ「あんどうしんぼ & logo」をオープンしたのもその一つです。

前阪 坂本も歴史的には深いものがありますが、観光客を呼ぼうとすると、飲食店とみやげものが不足しています。お店もぼつぼつと点在していつながっていません。ただ、県道比叡山線の拡幅工事が進められており、両側に歩道を付けて水路を設けるなど計画されています。

金子 おみやげもの屋さんやカフェがもうちょっとあるだけで、ぐんと変わると思います。きれいに整備されていて美しいまちなみなのですが。

高木 まちなかの魅力というのは、まずは人です。坂本はいいところですよと言う人。誰に聞いても、ここはいいところですよと言われると、やっぱり変わりますよ。

※ 里坊

比叡山で修行を終えた老僧が住んだことに始まる山麓にある約50の堂宇。穴太衆あなだしゅうの石垣や庭園で知られる。一帯は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。



園を見ながらの食事代を2000円でも高いと思っていたら満杯になった。3000円にしてもいっぱい来るそうです。

同じものでもどんな雰囲気食べるかによってだいぶ違うんですね。由緒があると

大津市3会場で「光秀大博覧会」開催

高木 令和8年(2026)は安土築城開始450年にあたります。大河ドラマ効果で人がたくさん来ることをきっかけにして、ドラマが終わってからも、もてなしの心で安土の魅力を増やしていきたい、それが滋賀県全体の活性化にもつながるようにしたいですね。

三日月知事も県の観光キャンペーン「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」で、明智光秀や織田信長だけではなく、浅井長政や豊臣秀吉、石田三成、蒲生氏郷、藤堂高虎ら、滋賀県が一番輝いた戦国時代の青春群像をアピールしたいとのことでした。

大津では来年の3月から「光秀大博覧会」が始まります。

金子 西教寺と滋賀院門跡、大津市歴史博物館の3会場で開催予定です(8ページ参照)。西教寺では「禅明坊」という塔頭で大河ドラマに関するものや、光秀ゆかりの

か、通常では体験できない時間帯、空間で食事ができるという演出は大事だと思います。坂本は里坊ですね。私も安土でお寺を開放して湧水でお茶を出してくださいと頼んでみたいと思います。

もの、「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」関連の展示も予定しています。西教寺さんではすでに先行して公開中のものもありですね。

前阪 西教寺では明智光秀公資料室でゆかりの古木や馬具など展示中です。1955(昭和30)年の本坊の庫裏改築の際に屋根裏で見つかった「天正年中明智公所造」と刻まれた古木と、光秀の娘婿・明智左馬之助が使用したと伝わる馬具です。庫裏の屋根裏から出てきたということは、以前の庫裏は光秀の尽力で建てられたものといえます。

金子 ほかに滋賀院門跡や大津市歴史博物館でも光秀関連の特別展示をしていただく予定です。これら博覧会3会場だけでなく大津市内を巡りながら、琵琶湖や比叡山などの風景を含めて楽しんでいただけたらなと思います。大河ドラマ「麒麟がくる」大津市観光振興協議会では、どのようなコン



天正年中明智公所造古木(西教寺蔵)
西教寺本坊庫裏の棟木に使用されていた古木。焼き討ち後に坂本城の陣屋を移築したといわれ、古木は明智光秀が寄進した庫裏の一部だとされる



明智左馬之助所用鞍革張り鞍・鐙(西教寺蔵)
「湖水渡り」の伝説で知られる光秀の娘婿・左馬之助が使用したと伝わる馬具

テンツやイベントで情報発信し、みなさんをお迎えするか、計画を練っているところなんです。ぜひ多くの方々にお越しいただきたいですね。

協議会以外の動きとしても、例えば家紋であるキキョウの花は夏が見頃ですから、来年の夏には大津のまちなかのあちこちで見られるような仕組みがくれたらなと考えています。

また、比良山や比叡山の尾根を歩く、「比良比叡トレイル」というコースからは、麓の坂本はもちろん、安土城跡など戦国ワンダーランドゆかりの地、滋賀県中の山がぐるっと見渡せます。まちなかだけではなく、山からも見て楽しんでいたきたいですね。それから、西教寺と比叡山延暦寺、三井寺を周遊できる「日本天台三総本山特別巡拝券」は1000円で3日間有効と、とてもお得です。

前阪 西教寺には坂本城の陣鐘も寄進されています。本物は重要文化財ですので収蔵庫に入っていますが、それも公開する予定です。

滋賀県観光キャンペーン



2019年10月22日(火・祝)～2020年12月末

10/22
(火・祝)

オープニングセレモニー

会場：文芸セナリヨ・滋賀県立安土城考古博物館一帯

- ・ゲストを招き、知事とパネルトーク
- ・墨絵師・御歌頭氏による墨絵ライブパフォーマンス
- ・基調講演「滋賀・近江の戦国時代」
- ・楽市・楽座(戦国グッズ、物販、フードコーナー、マルシェなど)
- ・滋賀県立安土城考古博物館特別陳列「明智光秀と近江」

各種プログラム

- ・戦国にちなんだ地域観光プログラム(まち歩き、体験など)
- ・戦国がテーマのイベント、特別プランやメニューなど
- ・戦国近江連続講座・現地ツアー
- ・地域をつなぐ周遊企画(スタンプラリー、戦国フォトジェニックキャンペーンなど)

お問い合わせ先

滋賀県戦国観光キャンペーン推進協議会

びわこビジターズビューロー TEL.077-528-2772
<https://sengoku.biwako-visitors.jp/>

「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」へようこそ!

三日月大造

滋賀県知事
びわこビジターズビューロー会長



「時は今 近江耕す 麒麟^{きりん}かな」

昨年、2020年の大河ドラマが明智光秀を主人公とした「麒麟がくる」に決まったと聞き、詠ませていただきました。

滋賀県には、明智光秀が比叡山延暦寺の麓、大津市坂本に築城した「坂本城」や光秀の菩提寺である「西教寺」、さらには本能寺の変の後、入城した「安土城」など、光秀ゆかりの地が至るところにあります。

また、明智光秀のみならず、数多くの名だたる戦国武将たちが、近江の地を駆け巡り、さまざまな歴史を創ってきました。こうした滋賀県に多く残されている、戦国時代の人物、史跡、逸話などに焦点を当て、今年の観光キャンペーン「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」を展開してまいります。

10月22日のオープニングを皮切りに、来年12月までの期間中、滋賀県内各地でさまざまな体感プログラムやイベントを開催しますので、ぜひご期待ください。

光秀大博覧会

お寺と歴史博物館めぐり

2020年3月上旬～2021年2月



3
会
場

西教寺・禅明坊 (大津市坂本 5-13-1)

滋賀院門跡 (大津市坂本 4-6-1)

大津市歴史博物館 (大津市御陵町 2-2)

大津市内3会場では明智光秀や大河ドラマに関する資料を展示予定。

お問い合わせ先

大河ドラマ「麒麟がくる」大津市観光振興協議会
びわ湖大津観光協会 TEL.077-528-2772

大津市指定文化財

和田家文書 九月二日付明智光秀書状

大津市歴史博物館 副館長 和田光生 みつ お

元龜2年（1571）9月2日付で明智光秀が雄琴の土豪和田秀純わだひですみに宛てた書状は、比叡山焼き討ちの10日前、宇佐山城にいた光秀の動向を伝える史料として注目されてきました。内容は、和田と仰木の土豪八木氏が織田方に味方すると伝えたことへの礼状です。和田の書状とともに八木氏が宇佐山城に行つて直接伝え、光秀はその決断を「感涙を流し」と表現しています。おそらく前年の

志賀の陣で、和田・八木氏は浅井長政方に与していたよう
うで、今回、織田方になると伝えたことから、このよう
な言葉となったのでしょうか。また、「堅田かたよりの加勢の衆、
両人衆親類衆たるべく候か」とあるのは、前年の志賀の
陣で織田方として活躍した堅田の土豪、猪飼野・居初、
馬場を指すのでしょうか。猪飼野の系図によれば、和田と
は姻戚関係にあったようですし、居初氏についても、近
世・近代には和田とつながりを持っていました。つまり
前年は、堅田衆が織田方、和田・八木氏が浅井方に分か
れていたわけですが、互いのつながりは続いており、そ
の中で、光秀の働きかけ、また堅田衆の働きかけもあつ
たと思われ、和田・八木氏は織田方につく決断をします。
戦国の不安定な状況の中で、地域土豪が生き延びるため
には、血縁を基盤としたネットワークが、頼るべき術の
一つだったのでしょうか。もちろん、この決断は、地域の
命運をかけたものになります。

光秀の書状には、「仰木おきのことはぜひとみなで斬りにつ
かまつるべく候、やがて本意ほんいたるべく候」という物騒
な言葉が見られます。これを比叡山焼き討ちを前提とし
た指示と考えると、横川山麓よかわの仰木に逃げてくる者を皆
殺しにするように、指示しているのではないのでしょうか。
織田に味方することは、人質を出し、比叡山焼き討ちに
加担することを意味しており、それは殺戮をとみなうも
のでした。こうして雄琴の土豪和田は、明智光秀に付き
行動を共にしますが、山崎の合戦には従軍しなかったよ
うです。その後、和田は地元まちに帰農し、子孫は雄琴で暮
らし続け、私は、その末裔まついということになります。



おおつ しれき しはくぶつかん
大津市歴史博物館 MAP⑧



三井寺の北隣にあり、大津市ゆかりの文化財や資料を保存展示している。2020年3月から開催の「光秀大博覧会」では企画展を予定。

📍 大津市御陵町2-2 📞 077-521-2100
🕒 常設展320円、企画展別途 🚗 京阪大津市役所前駅から徒歩5分、またはJR湖西線大津駅から徒歩15分 / 名神京都東ICから西大津バイパス経由10分

近江八幡

あづちょうあと
安土城跡 MAP⑨



織田信長の居城跡で国指定の特別史跡。金箔を施した瓦に彩られた5層7重の天主をもつ豪華絢爛な城郭だったと伝わる。

📍 近江八幡市安土町下豊浦 📞 0748-46-4234 (安土駅前観光案内所) 🕒 700円 🚗 JR琵琶湖線安土駅から徒歩25分 / 名神竜王ICから20分

しがけんりつ あづちょうこうこくはくぶつかん
滋賀県立安土城考古博物館 MAP⑩



弥生時代から古墳時代の考古資料や、安土城と織田信長に関する資料が豊富にそろう。明智光秀に関する金曜城郭講座も好評 (先着順、200円)。

📍 近江八幡市安土町下豊浦6678 📞 0748-46-2424 🕒 常設展450円、企画展開催中500円 🚗 JR琵琶湖線安土駅から徒歩25分 / 名神竜王ICから20分

あづちょうてんしゅ のぶなが やち
安土城天主 信長の館 MAP⑪



セビリア万博日本館に出展された安土城天主の最上部5・6階の部分を旧安土町が譲り受け展示。VRシアターでショートムービーが楽しめる。音楽ホール「文芸セミナリヨ」に隣接。

📍 近江八幡市安土町桑実寺800 📞 0748-46-6512 🕒 600円 🚗 JR琵琶湖線安土駅から徒歩25分 / 名神竜王ICから20分

あづちょうかく しりょうかん
安土城郭資料館 MAP⑫



JR安土駅南広場にある城郭を思わせる外観の資料館。20分の1スケールの安土城の模型は、天主が細部まで再現されている。

📍 近江八幡市安土町小中700 📞 0748-46-5616 🕒 200円 🚗 JR琵琶湖線安土駅から徒歩すぐ / 名神竜王ICから15分



彦根・多賀・長浜

さわやまじょうあと
佐和山城跡 MAP⑭



湖北・湖南の境目の城として重視された城郭跡。織田信長は重臣の丹羽長秀を配し、自身も佐和山城を近江制圧の拠点として利用した。

📍 彦根市古沢町・佐和山町 📞 0749-22-2954 (彦根市観光案内所) 🚗 JR琵琶湖線彦根駅から徒歩50分 / 名神彦根ICから10分

じゅうべ え やしきあと
十兵衛屋敷跡 MAP⑮



江戸初期の地誌『淡海温故録』に明智光秀(十兵衛)の父が現在の多賀町佐目に住んでいたという記述があるほか、現地にゆかりの伝承が残る。

📍 多賀町佐目472 (十二相神社) 📞 0749-48-1553 (多賀観光協会) 🚗 近江鉄道多賀大社前駅からタクシーで15分 / 名神彦根ICから20分



ながはまじょうれき しはくぶつかん
長浜城歴史博物館 MAP⑬



長浜城は羽柴(豊臣)秀吉が浅井長政攻めの功で織田信長から拝領した地に築いた。再興天守内が博物館になっており、展望台から琵琶湖を望む。

📍 長浜市公園町10-10 📞 0749-63-4611 🕒 400円 🚗 JR琵琶湖線長浜駅から徒歩8分 / 北陸道長浜ICから15分

2020年大河ドラマ 麒麟がくる 主人公・明智光秀

光：光秀大博覧会(2020年3月上旬～)会場

料：大人料金

ゆかりの地 滋賀をゆく

大津

さかちとじょうあと
坂本城跡

MAP⑥



比叡山焼き討ち後、信長に滋賀郡(大津市)支配を任された明智光秀が湖畔に築いた。国道161号沿いに坂本城址公園が整備され、光秀像が立つ。

開 大津市下坂本3-1 図 077-528-2772 (びわ湖大津観光協会) 西 JR琵琶湖線大津駅からバス下坂本下車、徒歩3分 / 西大津バイパス下坂本ランプから5分

さいきょうじ
西教寺 光

MAP①



聖徳太子創建と伝わる天台真盛宗の総本山。比叡山焼き討ち後、明智光秀が総門や庫裏などを寄進した。光秀の菩提寺で一族の墓がある。

開 大津市坂本5-13-1 図 077-578-0013 料 500円 西 京阪坂本比叡山口駅またはJR湖西線比叡山坂本駅からバス西教寺下車すぐ / 西大津バイパス下坂本ランプから10分

しが いんもんぜき
滋賀院門跡 光

MAP④



穴太衆積みの手垣と白壁に囲まれた堂々とした構えで、かつて天台座主の居所だった高い格式を誇る。狩野派の障壁画を多く見られる。

開 大津市坂本4-6-1 図 077-578-0130 料 450円 西 京阪坂本比叡山口駅から徒歩5分、またはJR湖西線比叡山坂本駅から徒歩20分 / 西大津バイパス下坂本ランプから10分

しょうじゅうらいこうじ
聖衆来迎寺

MAP⑤



延暦寺の念仏道場として栄えた天台寺院。森蘭丸の父・森可成の墓があったため焼き討ちの難を逃れた。表門は坂本城の門を移したもの。

開 大津市比叡辻2-4-17 図 077-578-0222 料 350円(要予約) 西 JR琵琶湖線大津駅からバス来迎寺カネカ前下車すぐ、またはJR湖西線比叡山坂本駅から徒歩15分、京阪坂本比叡山口駅から徒歩20分 / 西大津バイパス下坂本ランプから5分

ひ えいざんえんりやくじ
比叡山延暦寺

MAP②



最澄が開いた天台宗総本山で世界文化遺産。織田信長による焼き討ち後、豊臣秀吉や徳川家康によって復興された。国宝・重要文化財など多数。

開 大津市坂本町4220 図 077-578-0001 料 700円 西 京阪坂本比叡山口駅またはJR湖西線比叡山坂本駅からバス、坂本ケーブル延暦寺駅から徒歩10分 / 名神京都東 IC から40分

ひ よしたいしゅ
日吉大社

MAP③



全国各地にある3800余りの「山王さん」の総本宮。比叡山連峰の麓に広がり、延暦寺の門前町坂本の鎮守神。東本宮・西本宮ともに本殿は国宝。

開 大津市坂本5-1-1 図 077-578-0009 料 300円 西 京阪坂本比叡山口駅から徒歩10分、またはJR湖西線比叡山坂本駅から徒歩20分 / 西大津バイパス下坂本ランプから10分



せいあんじ
盛安寺

MAP⑦



明智光秀ゆかりの陣太鼓が残る天台真盛宗寺院。城郭のような穴太衆積みの手垣が生まれ、「桃山御殿」の異名をとる客殿などがある。

開 大津市坂本1-17-1 図 077-578-2002 料 300円 西 京阪穴太駅から徒歩5分 / 西大津バイパス下坂本ランプから10分



近江八幡

開 大津市坂本5-1-1 図 077-578-0009 料 300円 西 京阪坂本比叡山口駅から徒歩10分、またはJR湖西線比叡山坂本駅から徒歩20分 / 西大津バイパス下坂本ランプから10分



明智光秀ゆかりの地を歩く

9月
発売予定

サンライズ出版 編

B5判並製本 総112頁 1500円＋税

大河ドラマ「麒麟がくる」の舞台、岐阜・福井・滋賀・京都の関連史跡をオールカラーで紹介。執筆：太田浩司（長浜市学芸専門監）、松下浩（滋賀県教育委員会事務局文化財保護課副主幹）。

近江旅の本 信長が見た近江 『信長公記』を歩く

大沼芳幸 著

A5判並製本 総188頁 2000円＋税

織田信長が天下布武の足がかりをつかみ、それを具現化させた近江の地を、信長研究の一級資料『信長公記』の記述に沿って歩く。



おうみ
淡海文庫61

近世への扉を開いた羽柴秀吉 長浜城主としての偉業を読む

太田浩司 著

B6判並製本 総200頁 1500円＋税

長浜城を築き、城下町を「日本近世」の原点となる都市へとつくりかえた羽柴秀吉の事績を元長浜城歴史博物館館長が解説する。



おうみ
淡海文庫59

京近江の武将群像

京都新聞社 編

B6判並製本 総228頁 1500円＋税

明智光秀や浅井長政、石田三成、大谷吉継、蒲生氏郷、藤堂高虎、井伊直政ら、京近江ゆかりの武将26名の生涯を追う。



表紙写真 左上／西教寺宗祖大師殿の唐門に施された麒麟の彫刻
右下／坂本城址公園に立つ明智光秀像

編集後記 今回は特別号として、2020年1月から始まる大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公・明智光秀にスポットを当て、滋賀県内のゆかりの地などを紹介しました。ドラマ放送に向け、各地でさまざまな取り組みがなされているものの、公開できる情報はまだ限られています。そんな微妙な時期にご協力くださった関係各位に心から感謝いたします。



おうみ
淡海文庫63

明智光秀と近江・丹波

分国支配から「本能寺の変」へ

福島克彦 著

B6判並製本 総188頁 1500円＋税

信長を倒した光秀はどのような人物だったのか。近江・丹波において交わされた手紙などから、謎に包まれた人物像に迫る。



安土 信長の城と城下町

発掘調査20年の記録

滋賀県教育委員会 編著

B5判並製本 総112頁 2200円＋税

20年にわたる安土城跡調査整備事業の成果報告を紹介。発掘調査時の写真、遺構図、文献資料など250点以上の図版、安土城と城下町に関する文献目録も多数掲載。

おうみ
淡海文庫46

浅井長政と姉川合戦

その繁栄と滅亡への軌跡

太田浩司 著

B6判並製本 総248頁 1200円＋税

大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」で時代考証スタッフを務めた著者が、ドラマでは描かれなかった浅井長政の真実に迫る。



近江の山城を歩く

中井 均 編著

A5判並製本 総304頁 2200円＋税

『近江の山城ベスト50を歩く』（2006年刊）以降の新しい知見などを踏まえ、合計70の山城について概要と縄張図を掲載。城の位置図、各城跡へのアクセス図を付けた、城郭探訪必携の書。



Duetの定期購読をご希望の方は、下記までお申し込みください。

お申込先

〒522-0004 滋賀県彦根市鳥居本町655-1

サンライズ出版株式会社 Duet 編集部

TEL (0749) 22-0627 FAX (0749) 23-7720

(振替) 01080-9-61946

インターネットで Duet がお楽しみいただけます。

<http://www.sunrise-pub.co.jp/>